令和３年度授業改善プラン　　保健体育科

大田区立大森第四中学校

令和２年度授業改善プランの検証

・意見交換等を通し、『自己の課題に応じた取組み方の工夫』を意識して取り組む。
　授業での取組がどのような目的で行われているのかを理解させる必要がある。
→学習カード等を活用することで、授業の目的を明確にすることができた。また、自己の課題に目を向け取り組ませることができた。しかし、課題に応じた取組み方の工夫が不十分である。
・今年度は感染症の影響による休校の影響もあり、全国の平均を下回っている種目が多々ある。
　基礎体力の全体的な向上を目指し、毎時間に体作りの運動を取り入れていく。
→各種目に合わせた体作りの運動を取り入れて授業ができた。しかし、基礎体力の向上に関しては今後も継続して取り組む。特に、柔軟体操やキャッチボールを取り入れて基礎体力の向上に努める。（一校一取組）
・競技のルールや特性を理解させ、生徒一人一人が自己の能力に応じた課題をもって、授業に取り組めるよう、学習ノート（プリント）の記入時間を授業計画に適切に取り入れる。
→学習カード（プリント）を使用して競技のルールや特性の理解や自己の課題を考えることができた。
・体育分野においては、延期となった東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向け、オリンピック・パラリンピックに関する知識・理解を深めさせる指導を行う。また、各単元においても関連させながら指導していくことで、生徒の興味・感心を高める。
　→各単元でできるだけ、オリンピック・パラリンピックに関連付けた記録や話題を取り入れ指導を行ってきたが、充分に知識・理解を深めることはできてはいないので、今後も継続して指導していく。
・保健分野で感染症やその予防の仕方についての理解を深めさせる。
→新型コロナウイルス感染症対策を例に挙げながら、その他の感染症や日常生活の中でできる感染症予防対策について考えることができた。
・保健分野で「保健・医療機関とその利用」「医薬品の正しい使い方」で病院の利用の仕方や医薬品の正しい使用方法についての理解を深めさせる。
　→各自が自分の健康について考え、保健・医療機関、医薬品の正しい使い方の理解を深めることができた。また、将来を見据えて、「かかりつけ医」の大切さについても考えることができた。

保健体育科の授業改善策

＜体育分野＞
・引き続き、意見交換等を通し、『自己の課題に応じた取組み方の工夫』を意識して取り組む。
・競技のルールや特性を理解させ、生徒一人一人が自己の能力に応じた課題をもって、授業に取り組めるよう、学習ノート（プリント）の記入時間を授業計画に適切に取り入れる。
・感染症対策をしながら、各種目の学び方を工夫して、学ぶことができるようにする。
・基礎体力の向上を目指して、各種目に合わせた体作り運動を実施していく。
・東京オリンピック・パラリンピック競技大会が行われ、競技結果などからも身近に感じることができ、各競技への興味・関心を更に高めていく。
＜保健分野＞
・引き続き保健分野で感染症やその予防の仕方についての理解を深め、予防のための行動ができるようにしていく。
・「保健・医療機関とその利用」「医薬品の正しい使い方」で病院の利用の仕方や医薬品の正しい使用方法についての理解を深めさせる。